

きょうこう

教育情報誌

vol. 47

2024年4月

巻頭インタビュー

●国内唯一の製硯師

青柳 貴史



積み重ねは
自分を裏切らない

特集 令和5年度 第29回 日教弘教育賞

心に残る子どもたち

群馬県前橋市立元総社中学校 教諭

豊島 章弘

福岡県立福岡高等学校 校長

三宅 竜哉

教職員の健康を応援 〈第3回〉

指圧のエビデンス

人生100年時代に向けて

My Second Life 〈vol.17〉

96歳現役!

「四角法」で一億総美文字を目指す!!

佐藤 圭一

わたしたちの学校自慢

●専門高校シリーズ 〈vol.12〉

長野県長野商業高等学校



●国内唯一の製硯師^{せいけんし}

青柳 貴史



積み重ねは
自分を裏切らない

「製硯師」とは、大地から石を切り出し、硯が完成するまでの工程をすべてプロデュースする人のことである。国内では青柳貴史さん唯一人。幅広いファンをもつ唯一無二の存在として、世界中から注目を集めている。

今から約2000年前に誕生したといわれる硯は、文字を書くための道具のひとつとして、主には東アジアで歴史を重ねてきた。現在、NHK大河ドラマ「光る君へ」の中で紫式部が愛用する硯は、石探しから始め、石を削り、600時間をかけて復刻させたもの。

製硯師として歩み続ける青柳貴史さんに、硯の魅力と不思議についてうかがいました。

石の魅力を通して硯の文化を伝えたい

東京浅草で、書道用具専門店「宝研堂」の4代目として育ちました。祖父も父も硯職人です。幼い頃の遊び場は硯をノミで削る小さな工房で、祖父には随分可愛がってもらいました。祖父が亡くなる前日の夜半に、「そのノミを取ってくれ、彫り方を教えてやる」と、意識朦朧とした中、僕に向かって言ったのですが、祖父の遺言だと感じとりました。21歳のときです。

それから懸命に硯職人になる努力をしましたが、30歳を越えた頃でしょうか。完成した硯をお客様に手渡すときに、硯の原点である「石」について自分の言葉で話せないことに違和感を覚えました。そもそも硯の石って何なんだ。硯の石がとれる山を守り続けている人々の暮らしや文化を、硯とともにお伝えするのも我々の仕事なのではないか。硯とは大地とその地に暮らす人々によって育まれているのだ。そう思ったら、いてもたってもいられなくなったのです。それからでしょうか、ツルハシを担いで山に入るようになったのは。

採石はダイナマイトで発破したり、ツルハシで掘り出したりします。方法は様々ですが、そこには山を守る人々が住んでいて、山を熟知し大切にしている文化があり、大地の匂いがある。地球の一部をいただいているのだなと、石に出会う度に思うのです。

月の石と地球最古の石

小学校で硯のお話をすることがあります。先日、美術品として高く評価されている硯を子どもたちに使ってもらいました。多くの書家をうならせた名硯で、墨をする楽しさを知ってもらいたいと思ったからです。ところが子どもたちは思ったほど反応しないのです（笑）。芸術性や、一般的な硯の評価基準では子どもの心は動かない。そこで考えたのが純粋な面白さでした。月の石で墨をすって手紙を書いたら記憶に残るんじゃないかなと。そして月隕石を手に入れ500円玉程度の大きさの平らな硯を作りました。

そこから着想を得て、40億年前の地球最古の石で硯をつくり、子どもたちに墨をする体験をしてもらうのはどうかと考えたのです。

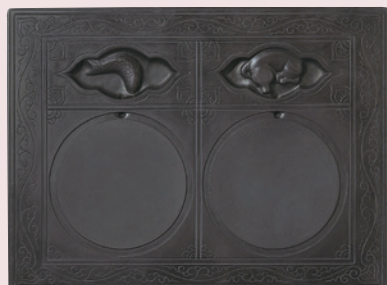
石の硯が誕生した頃は、小さじ1杯程度の水で墨



月の石の硯



地球最古の石



紫式部が源氏物語
を起筆する際に使用
したとされる硯を、
現代に蘇らせた

をすり手紙を書いていたとされています。月の石の硯は、使い方として硯の原点に触れることができます。「子どもの頃、月の石で墨をすって手紙を書いたな」という記憶は、ルーツを辿る面白さに繋がるのではないかと考えています。

石を彫るプロとしての日課

2017年、夏目漱石が愛用していた硯の復刻製作を手掛けました。当時の職人の製作癖を読み解き、忠実な復刻を目指しました。硯は字を書くための実用道具であると同時に美術品の一面もあり、数多^{あまた}残る硯たちにも当時の作り手の技量がそのまま投影されています。

2023年には、紫式部が使ったとされる硯の復刻製作をしました。滋賀県の石山寺に現存している硯を調査解析し、ディテールを再構成し現代版として蘇らせるプロジェクトでした。コロナ禍であったため渡航ができず、使用原石は中国から送ってもらいました。原料が自然石であるため、大きさのある硯は多少のヒビはいたしかたないとされるのですが、奇跡的にもヒビのない原石を手に入れることができました。これから先、たとえば1000年残る硯の条件を挙げるならば、素材の優秀性は欠かせません。

製作時間は彫刻だけで600時間。調査、設計を入れるとほぼ1年でした。今回ほど長時間ひとつの硯を彫刻し続けたのは初めてでした。

長期戦は想定していたので製作中は調子を一定に保つため、食事管理と睡眠時間に注意しました。

●青柳 貴史(あおやぎ たかし)

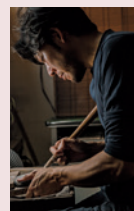
1979年2月8日 東京都浅草生まれ。
浅草で90年続く和漢文房四宝「宝研堂」
四代目。

作硯、文化財修復、復刻製作を専門とする。
16歳より祖父青柳保男、父青柳彰男に作
硯を師事。

20代より中国大陸の作硯家との交流を経て、伝統的硯式
の研究、再現製作に従事。

各地にて硯材の採石、石質調査を行っている。また硯文化
の熟成を目指し、個展にて作品の発表を続けている。

社会活動として学校等での講演を通し、日常生活における
毛筆文化の復活に注力。



profile

在宅美術館で
「青柳貴史の硯展-online-」を開催中

URL : <https://home-museum.net/>



また座りっぱなしになるので60分刻みでストレッチを
導入しパフォーマンスの安定を意識しました。

工夫を諦めない

紫式部の硯が完成して一週間ほど経った頃、次の
仕事に取り掛かった矢先に左肩の腱板が断裂を起こ
しました。全治6か月と診断されたときは次の製作は
さすがに無理かと思いました。ですが、弟子たちに腕
の状況を伝え、チームで臨むことで打開できないかと
相談しました。その結果、治療中でも完成精度を落と
さず納品をすることができました。高い技術があっても、それは1人で占有するのではなく、チームで所有し
ていた方が社会への関わり方としてより貢献できると
改めて気付かされた出来事でした。

人は誰にでも役割があります。その役割に優劣は
ありません。自分の役割に対して、探求と工夫をあきら
めない、そんな毎日の積み重ねは決して自分を裏切
りません。何事もあきらめずに工夫し続けてみてくだ
さい。1人で解決できなければ周囲に相談してみてください。
あきらめなければ工夫の可能性は無限です。
子どもたちへ贈る、僕からのメッセージです。



読者の中から抽選で3名様に、青柳 貴史さんのサイン
入り絵本をプレゼントします。

応募は、はがきに ①住所、②氏名、③電話番号、④ご所属の学校
名(組織名)、⑤本誌の感想 をご記入のうえ、以下の宛先までご
郵送ください。

■応募宛先 : 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-6
(公財)日本教育公務員弘済会
「きょうこう vol.47 プレゼント」事務局

■締 切 : 2024年7月31日(水)必着

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

令和5年度 第29回 日教弘教育賞

最優秀賞の2校にインタビュー

「日教弘教育賞」は、公益財団法人日本教育公務員弘済会が行っている事業です。

教育関係者が使命感をもって日々行う教育実践の報告の場として、教育実践研究論文を募集し、学校教育の向上発展に寄与する優れた実践研究を対象に、助成を行っています。今回は最優秀賞2校の受賞論文およびインタビューを紹介します。

地域連携 その先をめざす小規模高校の実践

—「^さかした
咲明日高校マルシェ」の活動を通して—

岐阜県立坂下高等学校 校長 田並 千穂

はじめに

児童生徒への将来の期待と、社会に開かれた教育課程の実現に向け、令和3年1月の中教審答申『『令和の日本型学校教育』の構築を目指して』は、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を掲げている。

そのうち、高等学校学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の具体的方法の一つとして、探究学習における協働的な学びの実践が挙げられている。

本校では、これまで「地域と共に、地域と育つ」をスローガンに掲げ、小規模校の特長である個々に応じたきめ細かい学びの実践と、地域と連携した学習活動を重ねてきたが、中山間地域の少子化の進行の中で、「学校だけでなく地域住民等と連携・協働し、学校と地域が相互にパートナーとして、一体となって子供たちの成長を支えていく¹⁾」ための授業改善や、校外活動の充実を図る改革に取り組んでいる。

その一つとして、昨年度新たに実施した「咲明日高校マルシェ」(以下、マルシェとする)への取組と学び、および今後の展開について述べる。

1 学校概要

岐阜県の東端、中津川市坂下地区に位置する本校は、学習諸活動を通して、自己有用感を高め、将来の

地域に貢献できる人材の育成を進めている。各学年60名定員の小規模校で、ほとんどが地元出身の生徒である。卒業後は、進学・就職半々で、就職する卒業生のほとんどが地元企業で活躍している。

豊かで活力ある地域づくりに貢献できる「地域社会人」の育成をめざす本県の教育ビジョンの推進、ならびにふるさとに誇りを持つ生徒を育成する「ふるさと教育」に積極的に取り組んでおり、地元社会人による講演(各教科)、地域保育施設との交流(家庭科)や介護施設との交流(福祉科)など、教科や学科の学習活動のほか、地域ボランティア活動(生徒会)、地域高齢者へのお祝いメッセージカードの製作(家庭クラブ)などを継続して行ってきた。

このような中、いわゆる普通科改革による学科改編により、新たに「地域探究科」を令和4年度からスタートした。新学科開始にあたっては、既存の福祉科とともに、学科・教科の学習活動において、地域を題材に、また地域と連携した探究学習を追求しているところであり、地域連携の中で、生徒の主体性をより高める活動を実施できないか試行している。

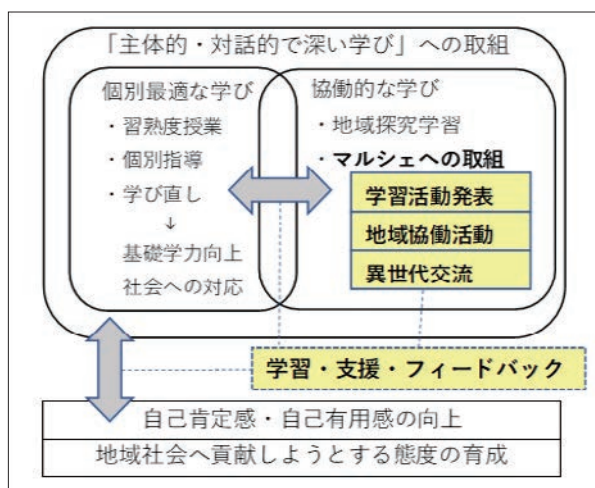
2 マルシェの実践

(1)開催まで

新型コロナウイルス感染対策により、本校の地域

活動は通常の実施が困難となり、停滞気味であった。感染対策を取りながら、生徒が企画運営し、地域の方々に本校の活動に参加してもらうための方策を検討する中、若手教員から住民参加型のマルシェ方式の活動企画が提案され、次のようにその位置付けを検討した。

生徒が個々に応じた学びで身につけた基礎学力や、地域と連携した探究学習などの協働的な学びを相互に関連付けながら思考を広げ、その成果をマルシェで発表する。それにより、地域に本校の活動を還元するとともに、地域社会に貢献しようとする生徒の自己肯定感・自己有用感を高める。教員は生徒の主体性を大切にし、学習活動に伴走しながらフィードバックを重ね、活動の見通しの確認や発表方法の軌道修正を促すといった支援を行うことを目指す[資料1]。



[資料1] 学びのイメージとマルシェの位置付け

学校が主体となって地域に施設を開放する県内初の試みには、校内の抵抗感もあった。職員の共通理解を図るため、年度当初から関係職員ならびに全職員でミーティングを重ね、学習活動としてのマルシェの意義を確認し、各教科・学科で具体的な活動内容を調整した。

当日に向けての具体的計画期間は、新型コロナウイルス感染不安のある時期(第7波)であったため、出展者、職員、生徒それぞれへの事前説明会を設け、時間をかけて開催の目的、安全性の担保、継続でき

る活動とすることを確認した[資料2]。この間、運営マニュアルを整備し、関係者それぞれの理解と自覚のもと、以下に述べる3つの目的観によりマルシェを開催する運びとなった。



[資料2] 出展者説明会(上) 生徒説明会(下)

(2) 目的と内容

● ア 「学習活動の発表の場」としてのマルシェ

1年生はグループごとにSDGsや地域貢献といったテーマを設定し、来場者が楽しめるゲームやバザーなどを企画・運営した。2・3年生は学科や教科での学習内容や、総合的な探究の時間における地域の課題学習内容を発表した[資料3]。発表方法はブース方式、ポスター掲示、プレゼンテーションなど、各生徒の工夫を凝らしたものとなった[資料4]。

教科や探究学習の発表は、一年間の学習活動計画における中間発表として位置付け、校内外の評価を得ることにより、自分たちの学習を振り返り、今後の活動に軌道修正を加える新たな学びの機会を得た。

	発表内容	関係者
国語	地元資源を生かしたカードゲーム	地域観光協会
地理	地元飲食店マップ	飲食店組合
理科	断層崖と河岸段丘の観察	富山大学
英語	伝統的な祭りの紹介	花馬祭り保存会
家庭	地元食材を使った弁当の企画	地域商店
探究	動物の里親を見つけるために	動物病院、NPO
探究	空き家問題の解決のために	市役所、振興事務所
探究	献血協力者が少ない課題について	献血センター、JC
探究	ファッションの共有とSDGs	地域住民、地域商店

[資料3] 学習活動発表内容(一部)

[資料4]



学習活動の発表
(グループ活動)



教科学習発表



探究学習発表



探究学習プレゼン

● イ「地域との協働活動の場」としてのマルシェ

地域の出展・出演者は、そのネットワークにより個人・団体合わせて60以上を数え、さまざまな物販・発表を提供した。飲食物の製造や販売の企画運営に携わった生徒たちは、連携を通じて出展者の思いや活動の理解を深めることができた。また、出展者も生徒の協力を通して、マルシェの意義や教科の学習目的について理解を深め、双方にとってよい機会となった[資料5]。



[資料5] 出展者への協力(上) ステージ発表の様子(下)

● ウ「異世代交流の場」としてのマルシェ

乳幼児に対しては、保育コースの生徒が対応するブースを設け、手遊びやゲームなどをして、親子で楽しんでもらう場を提供した。また、高齢者を含む来場者に対しては、福祉科のハンドマッサージなどリラックスできる時間を提供することができた[資料6]。いずれも、自身の学びを高めるよい機会を得たが、台本通りにいかない突発的な対応も求められた。

例えば、ハンドマッサージは、マッサージ以上に相手との会話を充実させ、心身ともにリラックスしてもらう必要がある。生徒は、戸惑いながらも介護実習な

どで得た学びの成果を発揮し、コロナ禍で実現困難であった異世代の人たちとふれあう経験を積むことができ、来場者も親子や三世代で、久しぶりの地域の賑わいに参加することで、生徒の取組の理解を深めた。



[資料6] 保育コース活動(上)福祉科ハンドマッサージ(下)

3 成果と課題

学校HPや専用Instagramでの告知のほか、同窓会等の支援により作成したポスター・チラシの効果もあり、当日は人口4000人あまりの町の学校に、およそ1500人の来場者を数え、マスコミでも紹介いただいた。コロナ感染の心配をするほどの盛況であったが、先述した事前準備の充実と関係者の協力のおかげにより、トラブルなく終えることができた。

(1) 生徒の成長

マルシェ最大の成果は、生徒の経験とそこから得られる学びが彼らの大きな自信につながったことであった。主体的に取り組むことができるか不安な生徒もいたが、役割と交流の場が全生徒に与えられる

ことで、各々のモチベーションが高まり、積極的に活動することができた。地域という「新しい世界との出会いと対話による背伸びとジャンプ²⁾」による新たな学びを得た生徒の満足度や自己評価は、事後の感想文などにみられるように極めて高いものであった[資料7]。

■ 生徒感想

- 授業で今までやってきたことを発揮でき、地域の多くの人から楽しかった!と声をかけてもらえ嬉しかった。
- 準備も本番も片づけも全員が動いたことが印象的だった。
- 幅広い世代の人たちと積極的にコミュニケーションを取ることができた。

■ 教員評価(生徒の学びに関して)

- 役割と行動に責任を持ち、活動を通して楽しめていた。
- 主催者であることの意識を多くの生徒が持ち、かつ、主体的に活動できている姿を見ることができた。
- 外部の方との関わりを通じてコミュニケーションの取り方や、挨拶の大切さを改めて学んでいた。

[資料7] 生徒の変化に関する感想・意見

今後の課題は、マルシェに向けたスケジュールリングの困難さを乗り越えることである。マルシェの発表までと、発表以後の学びをどこまで高めるのか、について具体的な活動評価を含め段階的な支援の方法を検討していきたい。

(2) 教員の変化

生徒へのアドバイスや励ましなど、小規模校特有のきめ細かい指導を重ねている日頃の成果がマルシェで発揮されたことは、教員の自信にもつながった。加えて校外の人々との交流によって教員自身が地域理解を深め、マルシェを通して成長する生徒の姿を確認できたことは、貴重な経験となった[資料8]。

■ 教員感想(生徒の様子に関して)

- 一生懸命自分の仕事をこなしており、臨機応変に対応できる生徒もいて、感心しました。
- 快く仕事を引き受けて元気よく働いていた。
- 生徒へは褒める言葉しかみつかりません。

[資料8] マルシェでの生徒の様子に関する感想

教員自身が主体的に動き、生徒を支援する場面も多く見られ、地域の方々からも好評いただいた。今後、生徒の主体的な活動をさらに高める工夫として、自己開示手法の導入、準備時期における段階的なアドバイス、地域関係者のデータベース化など、生徒の積極性を養うための支援や、手をかけすぎない支援の工夫・改善をしていきたい。

(3) 地域の認知

日々の業務の中で学校に対する地域の思いを把握することは難しい。学校運営協議会(コミュニティスクール)で幅広く地域人材を選んでいるとはいえ、地域全体の率直な意見を聞くことは困難である。マルシェは、地域の声なき声を聞くことができる場となり[資料9]、改めて地域における本校の意義や役割を確認することができた。マルシェ当日は卒業生も多く来場した。現在、地域を支える彼らにとっても母校への誇りと愛着を再び感じ取る時間となったようである。

■ 出展者・来場者感想

- 多くの方が笑っていたのが印象的だった。小さい子の楽しめる企画もあり、楽しい時間を過ごすことができました。
- 素敵な企画をする学校で羨ましい。先生方にも協力していただきありがとうございました。
- 朝から多くの人でにぎわい、素晴らしい学習発表行事でした。後輩たちがみんな頑張っていて感動しました。

[資料9] 出展者・来場者感想・意見

4 今後の展開

(1) カリキュラムマネジメント

『『一人一人の生徒が、…豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにする』ために、『社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程』³⁾』を実現するため、生徒と社会環境の実情に応じた教育課程の不断の見直しが必要である。

地域探究科では教科のほか、学校設定教科「地域連携」において、独自の学校設定科目を設けている

[資料10]。各科目の学習を基盤とし、データ活用、現地取材、外部関係者との連携といった実践を重ねながら学びを高められるよう、学年に応じた教育課程を編成したい。

例えば、学校設定科目「フィールドワーク」では、低学年での各教科の基礎的な学習を踏まえ、地域の現状を考察するが、その中で、歴史や文化の確認(地歴)、特徴的な地形(阿寺断層)の確認(理科)、食文化の確認(家庭)、観光活動の取組(商業)などを織り交ぜながら、教科横断的な学びを進める[資料11]。その成果をマルシェなど発表の場でアウトプットしていきたい。

科目名	学習内容
産業社会探究	企業活動の理解を通して産業社会を考える
看護支援技術	看護・福祉の両面からよりよい支援方法を考える
フィールドワーク	地域づくりの現状を多面的に取材し、考察する
デュアルシステム	就労体験を通じて地域産業の現状と将来を考察する
キャリアサポート	ビジネス知識を活用して地域づくりに参画する
ライフコーディネート	地域連携を通してよりよい生活を営む知識を得る

[資料10] 教科「地域連携」における学校設定科目の内容(一部)



[資料11] 「フィールドワーク」で想定している探究学習活動(「坂下神社」の確認(上)「阿寺断層」の確認(下))

(2) 大学や行政機関との連携

地元中京学院大学・短大とは学科や教科の学習において連携を進めているが、今年度は岐阜大学が主催するオープンカレッジや、大学と瑞浪市が連携したワークショップへ積極的に参加し、地域が抱える課題や公共空間の利活用についての学びを深める機会を得た[資料12]。大学や行政機関は、地域や高校との連携をより高める状況にあり、マルシェにも関わっている。今後こうした取組の中から本校の学習活動に昇華できる部分に関連付け、学びを広げたい。さらに、こうした連携活動を生徒の高校卒業後の進路選択に結びつけたい。



[資料12] 岐阜大学オープンカレッジでの地域交流(上)
瑞浪市・岐阜大学「道の駅ワークショップ」への参加(下)

(3) 未来社会を構築する担い手を育てる

将来予測が困難な時代の中であって、生徒たちは「新たな価値を創造し、対立やジレンマに対処する力を養い、責任ある行動をとる力を養うこと⁴⁾」が求められる社会生活を営むことになる。探究的な学習の意義は、今後より重視されることになろう。社会

状況の急激な変化にたじろぐことなく、基礎学力の定着、心理的安全性の確保、自己実現のための進路選択など、学校生活の安心と充実を構築しながら生徒の積極性や自主性を育成するように留意し、これら一連の過程の中にマルシェなどの地域連携活動を組み込み、段階的に学びを向上させることが肝要である。そうして、地域連携のさらに先へ生徒一人一人が主体的に歩を進めていくよう支援すること。それが、本校に与えられたミッションであると考えている。

【引用・参考資料】

- 1) 中央教育審議会.「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申). 2021
- 2) 佐藤学. 教育の方法. 2010
- 3) 高等学校学習指導要領(平成30年告示). 文部科学省. 2018
- 4) 白井俊. OECD Education2030プロジェクトが描く教育の未来. 2020



表彰式の様子。晴れやかな笑顔の先生方

田並校長ヘインタビュー

1. 受賞されたご感想や今回の研究で得たものについて教えてください。

受賞の知らせをいただいた時は、本校での取組が評価された喜びをすぐに職員たちと共有しました。この論文は中村浩一前校長が転出直前に応募してくださったものです。「咲明日高校マルシェ」に取り組み、様々な角度から成果や課題について検証したり、外部からの評価をいただいたりしてきましたが、今回の受賞もその評価の一つとして大変嬉しく光栄に思います。研究論文としてまとめることで、自分たちの教育活動を客観的に分析できたと同時に、最優秀賞というご褒美をいただき、生徒も職員もこの「マルシェ」に対してさらに自信と誇りをもつことができるでしょう。また、協力してくださった地域の方々も喜んでくださり、来年度の地域連携の力強い一歩となります。

2. 「咲明日高校マルシェ」を進める上での課題や、苦労した点を教えてください。

「学校に地域の出展者を呼び協働的に行うマルシェ」という形のモデルが周りになかったので、すべてがゼロからの立ち上げでした。生徒たちの企画を形にするだけでもたいへんですが、外部との折衝は未知の世界でした。参加する出展者をどのように募るのか、また学校でのマルシェの意義をどのように理解していたのか、来場者を迎えるにあたりどのような準備が必要なのか…等、考えなければいけない事項が山のようにありました。

さらに、マルシェの準備期間であった7～9月は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大期（第7波）でした。「本当にマルシェを開催できるのか…」という不安を抱えながら、準備が進められました。感染症対策も含め、様々な制限がかかる中での開催準備には苦労しました。

3. マルシェの活動を通して、ポイントとなったことや工夫した点などあれば教えてください。

「生徒も出展者も来場者も楽しめるイベントにしたい」という思いは強くもっていました。「坂下高校は楽しく元気な場所」という発信の機会としたかったのです。そのため、チラシやInstagramを活用し、事前の案内についてできるだけ「楽しいイベント」を前面に押し出しながら、マルシェの宣伝を進めました。来場者の感想に「みんなが笑っているのが印象的でした。」というコメントを見つけた時には、私たちの想いが伝わっていることを感じ、とても嬉しく思いました。

4. 取り組みの中で、先生方はどのように生徒に伴走しながら支援を行ってきたのでしょうか？

マルシェでの生徒の役割は3つありました。

1つ目は「日ごろの学習成果を発表する」ということです。発表方法も、体験ブース、製品販売、展示ブース…と様々でした。その具体的な方法等を考えていく際に、教員がアドバイスする場面が見られました。

2つ目は「運営するスタッフ」としての役割です。前日の会場設営から始まり、当日は受付、誘導、会場案内、進行、美化担当等、様々な場所で様々な役を生徒がこなさなければなりません。これについては、初めてのイベントということで、教員主導で分担を考えました。個々の役割が決まったところで、担当者ミーティングを行い、どのような動きをするべきか生徒に考えさせ当日に備えました。その際に、教員が生徒に伝えたのは「自分たちはイベントのホスト側である」という意識をもつことです。

3つ目は「客の立場」としての役割です。60以上の地域の出展者に対するお客さんとして楽しむことで、マルシェの来場者の気持ちも理解してもらおうという狙いがあります。

第1回マルシェは、白紙状態から始めたので、教員がリードする場面が多くありましたが、今年度の第2回マルシェでは、探究学習のゼミ活動に「マルシェ実行委員会」を組み込み、外部への協力依頼や出展者説明会も生徒が前面に立って進めてきました。できるところは生徒にまかせ、教員は後ろから見守ることで、成功体験も失敗体験も生徒にとっては「自分ごと」となるというスタンスでいます。

5. 地域を軸とした探究学習について、試行錯誤を重ねている先生方が全国にいらっしゃいます。メッセージをお願いします。

まずは教員、特に管理職が外に出て、地域の方たちと話す機会を多くもつことが大切だと思います。その中で、地域が求めることと学校が求めることがクロスする糸口が見つかるかもしれません。教育における地域連携は、「生徒」「学校（教員含む）」「地域」の“三方よし”でないと継続は難しいと思います。本校でも来年度から2年生と3年生が共同で行うゼミ活動がスタートします。これも初めての取組なので、うまくいくかどうか今からドキドキしています。マルシェでも同じことが言えましたが、前もって入念に計画をすべき箇所と、柔軟に方向性を変えることが可能な箇所、という2つの観点を持っておくといひのではないのでしょうか。生徒だけでなく、教員も楽しみながら伴走できる地域連携・探究学習が理想だと思います。

自校の教育課題の解決に向けて全職員が一丸となった教育の実現 —「大川小さいこうメソッド2023」の汎用的な活用を通して—

福岡県大川市立大川小学校 校長 宮崎 昌人

1 はじめに

学級の児童を下校させると、どの担任も、友達とトラブルがあった児童の保護者や欠席児童の保護者へ電話をかけまくる。2回線ある電話は、毎日17時が過ぎても、引っぱりなしに使われていた。保護者への連絡が終わると管理職への報告が行われる。その日のうちに解決できなかった生徒指導の問題は、組織的対応となり、関係職員で話し合いの場がもたれる。それらが終わって、同学年と明日の打ち合わせが行われ、それらが終わってから、やっと明日の授業の準備に取りかかることができる。このような毎日の対応に、職員も疲弊し切っていた。この状況では、子どもが満足する教育ができない。まずは、この状況を根本から改善しないといけない。そして、子ども達にとっても職員にとっても「最高の学校」に変えたい。このような全職員の切実な願いから、令和5年度4月がスタートした。

2 本年度の取組の経緯

(1) 職員の心理的負担を出し合い、共感する

年度初めに担任の心理的負担を全職員で共感した。

特に、次の3つが挙げられた。1つは、毎日の生徒指導の問題への対応と保護者への連絡である。初期対応が悪いと保護者との信頼関係が崩れ、解決するまで長期化するケースがあった。この場合、組織的に対応しても、担任が保護者から受ける精神的負担は大きく、トラウマとして後々まで引きずっているケースもある。

2つは、不登校・行き渋りの児童の増加である。昨年度は、不登校・行き渋りがある児童がどの学級(全

14学級)にも1名以上いた。この主な要因に、家庭生活の乱れや親子関係の問題がある。例えば、家庭に居場所がない児童や心理的に安心して生活できていない児童がいて、学校だけでは対応できなくなっている。その上で、毎日の電話連絡や連絡がとれない場合の家庭訪問は、担任にとっても負担が大きい。

3つは、上述の生徒指導の対応に追われ、教材研究や授業の準備が十分にできていない状態で、授業をしなければならないことである。全員の児童に、学ぶ楽しさを味わわせる授業づくりができないのはつらい。

(2) 今年度の重点目標で目指す姿を話し合う

これまでのコロナ禍での授業の様子を振り返ると、感染予防で、対話活動による学び合いが仕組みず、一部の児童の発表だけで授業が進む場面が多く見かけられた。授業中に手遊びをしている子、余所を向いて集中できていない子、ノートが書けていない子、全然挙手しない子、それらの児童をどうにかして授業に興味をもって参加できるようにしたい。すべての児童に「分かる・できる」楽しさを味わわせたい。そして、「勉強が楽しい。学校に行きたい。」と思ってもらいたい。そのような願いを実現するために、今年度の重点目標で目指す姿として、「全員が参加し、目的意識をもって、一人一人が納得するまで学び合う姿」を共通理解とした。そして、教師一人一人がお互いに授業力を高め合って、本校の課題の改善につなげていくことを誓い合った。

(3) 本校の課題解決に最適なメソッドを考案する

本校の課題を解決し、重点目標で目指す姿を達成するために、研究主任と生徒指導担当教諭が共同で、「生徒指導提要(改訂版)」(文部科学省,2022)にあ

る「積極的生徒指導の考え」と「令和の日本型学校教育」の「個別最適な学び」「協働的な学び」を組み合わせ、本校独自の授業づくり・学級づくり・体力づくりの視点として「大川小さいこうメソッド2023」を考案した。

〈授業づくり・学級づくり・体力づくりの視点〉

- さ…参加できる全員活動(自己存在感の感受)
- い…意図的な学び(目的意識づくり)
- こ…これからの自分(自己決定の場の提供)
- う…うれしさを伝える(共感的人間関係の育成)

学級の安心・安全な風土の醸成

この4つの視点で教育活動を仕組んでいくが、全員の児童が意欲的に参加するためには、間違えた発言をしたり、チャレンジして失敗したりしても、絶対に責められたり、叱られたりしないといった学級の「安心・安全な風土の醸成」が大前提にある。

そして、「2023」には、本校の喫緊の教育課題に対して、全職員が一丸となって、今年度中に必ず解決・改善の方向に向かうように全力で取り組むといった強い決意を込めている。

(4)「大川小さいこうメソッド2023」を汎用する

このメソッドは、授業づくり・学級づくり・体力づくりの視点だけでなく、あらゆる学校行事、児童会活動、クラブ活動、学級活動、総合的な学習の時間、朝の会、帰りの会などすべての教育活動に適用し、活動後も「さ・い・こ・う」の4つの視点で振り返らせる。

また、PTA活動やコミュニティー・スクール(C・S)でも、「さいこう」をスローガンに充実させる。

〈PTA活動とC・Sの充実〉

- さ…サポートいっぱい
- い…いい学びいっぱい
- こ…子どもとのふれあいいっぱい
- う…うれしいこと発信いっぱい

学校－地域－子ども
Win-Win-Winの
関係

相互作用を
生み出す

3「大川小さいこうメソッド2023」の浸透

(1)組織の役割を分担し、機能化を図る

校内では、学びの向上部、心の育成部、体力向上部の3部会で役割を分担し、「大川小さいこうメソッド2023」の視点で、授業づくり、学級づくり、5月実施の体育会について、みんなで意見を出し合い、新たな取り組みを創り出していった。

■学びの向上部

これまでの「黙って椅子に座って授業を受ける」から脱却し、「席を離れて自分から学びを求める」全員参加の授業づくりを提案する。

■心の育成部

これまでの「児童間のトラブルは先生が解決する」から脱却し、「児童間のトラブルは自分たちで解決する」学級づくり・学級活動の仕組みを提案する。

■体力向上部

これまでの「体育に参加できない児童は見てるだけ」から脱却し、「競い合う・教え合う・支え合う」全員参加型の体育会を提案する。

そして、それらの日常化を図るために、チーム担任制を取り入れた。学年2学級の教科指導では、2人の担任の得意な教科を活かして交換授業を行う。技能教科は、学年合同で、T1、T2で役割分担をして行う。

このシステムを導入することで、自己の授業づくりの課題の解決に向けて、メンター・メンティで互いに授業を見合い、改善を繰り返していくことができる。

また、PTA、地域、各関係機関との連携については、外部と一番つながっている教頭が「つなぎ役」を担い、自校の課題解決に向けて「学校がやるべきこと」「PTAがやるべきこと」「地域がやるべきこと」「関係機関がやること」の役割を見直し、お互いに意見を出し合う場をつくり、連携することによって学校の教育力を最大化できるように努めていった。

(2)1学期の取組の計画を立てて具体化を図る

昨年度(R4年度)、組織的に対応した生徒指導の

発生件数を分析すると、年間40件のうち、1学期が20件で半数を占めていた。

■令和4年度組織的に対応した生徒指導の発生件数

R4	4月	5月	6月	7月	合計
件数	3件	7件	8件	2件	20件

これまでの本校の傾向として、体育会(5月)などの大きな行事の終了後に、児童の「目的意識」が薄くなり、生徒指導に関する事案が増加する傾向にあった。

そこで、本年度は、生徒指導が起こる前の課題予防的生徒指導の観点から、児童の「目的意識」が途絶えることがないように教育活動の計画を立てて取り組んだ。

1学期	4月	5月	6月	7月
主な行事	学級開き 学習参観	27日 体育会	公開授業 個人面談	親子ふれあい 活動
学びの 向上	授業を公開 メンター・ メンティで、 授業づくり	探究的な 学習の計画	校内研での 授業の公開 探究的な 学習の充実	校内研修の まとめ
心の 育成	学級の 目標づくりを 行う児童会 のスローガン づくり	自分たちで 課題を解決 するクラス 会議を実施		学級目標の 紹介 人権集会 縦割り活動
健康・ 体力向上	体育会の 計画と スローガン 決め	体育会の 練習・本番	体育会での 感謝を伝える 放送	授業
PTA C・S 関係機関 との連携	PTA総会 スローガン 「大川小PTA さいこう!」	学校運営 協議会で 役割の明確化 ボランティア の募集	関係機関との 連携 ケース会議で 不登校の 保護者を バックアップ	PTA主催 親子ふれあい 活動 ミニ講演会

4月は、全職員で「全員参加の授業づくり」と「学級の雰囲気づくり」のイメージを共有するために、研究主任が日常の授業を公開する期間(5日間)を設けて、可能な時間に、だれでも参観できるようにした。

右上の写真は、その期間に公開した音楽の授業である。一人ひとりが「みんなで上手に歌おう」という目的意識をもち、笑顔で全員が参加していた。先生が、児童を上手にのせたり、褒めたりしながら、全員が自信をもって挙手する姿も見られた。そこには、子

ども達が安心できる「居場所」があった。そして、最後は、数人が「みんなで肩を組んで歌おう」と言いだし、先生が何も言わなくても前にぞろぞろ出て歌い始めた。



このような授業の雰囲気や子どもの居場所づくりをみて、各学年・学級の日常の授業づくりに活かしていった。

5月は、「さいこうの体育会」を目指して、学校が、体育会一色に染まった。「大川小さいこうメソッド2023」の視点で、職員も児童も「全員参加」を意識して、活動を工夫した。そして、友達と協力しながら、自分の課題を克服し、自己指導能力を高めていった。

全員が参加するために、種目毎に
①出る人、②見る人、③支える人で
役割を持たせる。
①走競技は、同程度の走力で組む。
出場する種目や順番は選ばせる。
②みんなで簡単にできるコールや
応援歌を考えて全力で応援する。
③体育会の係以外にも役割をもつ。
・高学年：下級生の世話
・中学年：応援グッズ作り
・低学年：ポスター作り



全力で応援している様子

私は体育会を通して、自分の課題であるコミュニケーション能力を高めることができたことが嬉しかったです。
例えば、競技で同じペアになった5年生と協力できたり、競技が終わって「がんばったね。」と話をしたりすることができました。これがきっかけとなって仲よくなりました。
この力を学習場面や縦割り活動のときにも発揮して、コミュニケーション能力を高めていきたいです。

上の感想は、6年生のA児が書いたものである。A児は、友達関係に悩んで、昨年度2月から毎日登校を渋るようになり、3月から登校できなくなっていた。

新年度になり、クラス替えもあり、新たな気持ちで登校を始めた。学級では「さいこう」を合い言葉に、安心・安全な風土が醸成され、A児にとっても心地よい居場所となった。また、A児は、事前にキャリア教育で自分を見つめ、コミュニケーション能力が課題であることを把握していた。そして、体育会を通して、それを克服していくという目標を設定し、意識しながら異学年や友達と関わっていったことがうかがえる。

他の児童も、毎日自分の役割や目標を意識して、体

育会の練習に意欲的に取り組んだ。その結果、4・5月は、昨年度の同じ時期と比べると生徒指導の問題発生の件数や不登校・行き渋りの児童の人数が激減した。

しかし、他学年では、体育会の練習中、「負ける」等マイナスの言葉を発したり、友達をあだ名で呼んだりするようなことがあった。

このような学級の課題が発生したときは、クラス会議を開いた。クラス会議とは、右の写真のように、円になって座り、本音で自分の思いを語り合い、自分達でよりよい解決策へと導く指導法である。これは、アドラー心理学に基づいた学級経営の方法で、共同体感覚が育まれ、クラスの雰囲気が劇的に変わっていった。



(3) 地域を活用した探求的な学習を 計画的に仕組む

5月27日の体育会が終わったら、すぐに気持ちを切り替えて新たな学習に取り組めるように、5月の内に、地域のGTに相談しながら、生活科・総合的な学習の時間での体験活動や探求的な学習の計画を立てた。

学年	体験活動や探求的な学習の内容
1年 安全	実際に地域に出かけ、登下校を見守ってもらっている見守り隊や子ども110番の家の方と関わったり、公園で友達と遊んだりして、安全な道路の通り方や遊び方について学ぶ。
2年 生命	野菜作り名人と関わり、自分の野菜に名前を付けて、野菜の親になりきり、毎日、野菜に話しかけながら水やりの世話や病気になっていないか観察をして、成長や収穫の喜びを味わう。
3年 郷土	地元でとれる魚「エツ」について、料亭の女将さんと関わり、実際に見たり、触ったり、骨切りしたり、食べたりして五感を通して、エツについて深く学び、パンフレットを作成する。
4年 環境	清掃センターや近くのスーパーに取材に出かけ、リサイクルの大切さや地域の人たちのリサイクル活動への取り組みを学び、校内でリサイクルを広める企画を考えて、実行する。
5年 福祉	地域の高齢者や障がいをもった方との交流や車椅子や手話、高齢者の疑似体験、地域の施設や取組の見学を通して、みんなが過ごしやすい町づくりについて考え、報告書を作成する。
6年 将来の夢	キャリア教育で、校区内にある国際医療福祉大学に3回出かけ、施設見学、大学生、中国人の先生、ミャンマーの留学生と交流し、様々な生き方やコミュニケーションの大切さを学ぶ。

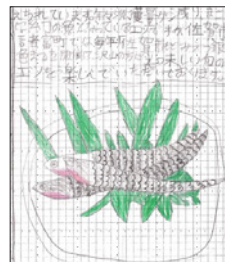
4 「さいこうメソッド」を活用した 地域との協働化

下の写真は、3年生が料亭に出かけ「エツ」を見学し、一人一人骨切りを体験しているところである。

その後、「エツのことを市外の人にも伝えたい」という目的意識をもち、パンフレット作りに没頭した。



骨切りの様子



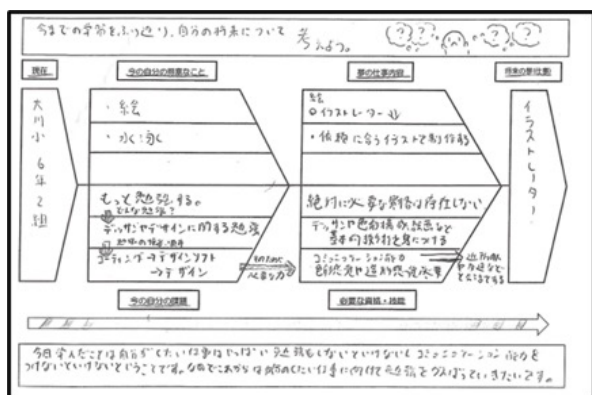
パンフレットの1部

パンフレットが完成すると、3年生の子ども達は、職員室の先生たちに見せに来了。両観音開きのパンフレットを開くとそこには、目が大きくて「エツ」のキラキラした鱗の一つ一つまでが詳しくかいてあった。どのパンフレットからも、子ども達が五感を通して「エツ」を学び、目的意識をもって、熱中して取り組んだ様子が伝わってくる。そして充実感に満ち溢れていた。

下の写真は、6年生が、キャリア教育で校区の国際医療福祉大学に出かけたときの様子である。大学内の施設の見学や学生への質問を通して、仕事をするには、資格をとり、スキルを高めていく必要性を学んだ。そして、中国人の先生と交流し、自分の好きなことや得意なことを伸ばしていく生き方を教えても



らった。また留学生と交流することを通して、他国の文化を知り、コミュニケーションをとる大切さや楽しさを学んだ。



上のノートは、これまでの学習を振り返って、A児が書いたものである。表には、「将来、イラストレーターになりたい。そのために、自分のよさを伸ばし、課題であるコミュニケーション能力を高めながら、もっと勉強したい。」と意気込みを書いていた。また、裏には、必要な資格やスキルについての情報を集めていた。

このようにA児だけでなく、6年生全員が、自分のこれからに向けての実践意欲を高めることができた。

5 1学期の取組を振り返って

(1) 生徒指導の件数の推移と要因について

■組織的に対応した生徒指導の件数の比較

件数	4月	5月	6月	7月	合計
R4	3件	7件	8件	2件	20件
R5	1件	2件	2件	0件	5件
増減	-2件	-5件	-6件	-2件	-15件

今年度の組織的に対応した生徒指導の発生件数を昨年度と比較すると、1学期だけで「15件減少」している。これまでの本校の傾向として、体育会が終了した5・6月に、子ども達の「目的意識」が薄くなり、生徒指導に関する事案が集中して発生していた。

ところが、今年度は、「大川小さいこうメソッド2023」の4つの視点で、すべての教育活動を計画的に仕組んだところ、体育会終了後でも、生徒指導の件数は増加しなかった。この要因として2つ考えられる。

1つは、体育会の参加のさせ方で、一人一人が「自分の役割」「高めたい力」「次にすること」「うれしさを伝え合う」を毎回、意識して取り組んだことである。

この結果、体育会を通して、友達や異学年と関わり自分自身を高めながら充実感を味わうことができた。

また、体育会終了後も、一緒に頑張った学級や異学年の友達へ感謝の気持ちを手紙で伝え、連日、昼の放送で紹介したことで、温かい雰囲気が醸成された。

2つは、体育会終了後も子ども達の「目的意識」が途切れることなく、気持ちの「切り替え」がスムーズにできたことである。先生も子ども達も「体育会が終わったので、これからは探究的な学習を充実していく」と気持ちを切り替え、地域の人と積極的に関わりながら、五感を通して生きた知識や生き方を学んだ。

この結果、学校に来る楽しみや学ぶ意欲が増加した。

(2) 不登校児童の改善とこれからについて

長期間不登校だった児童	児童B	児童C
R4年度(年間) 欠席	101日	150日
R4年度(1学期) 欠席	43日	63日
R5年度(1学期) 欠席	19日	4日

今年度1学期は、生徒指導の問題だけでなく、欠席の児童も劇的に減り、その対応に追われていた時間も減った。その分、教材研究や「大川小さいこうメソッド」の視点での授業づくりや学級づくりを充実させることができた。以上の成果をもとに、さらに全職員が一丸となって、最高の2学期を迎えようとしている。



表彰式の様子。大川小学校『さいこう』の笑顔が輝く先生方

宮崎校長ヘインタビュー

1. 受賞されたご感想や今回の研究で得たものについて教えてください。

この度、第29回日教弘教育賞 学校部門 最優秀賞をいただくことができましたことを、大川市立大川小学校の職員一同、大変うれしく思っています。この論文は、今年度の一学期までの取組をまとめたものでしたので、このような栄えある賞をいただくとは考えてもいませんでした。

昨年度末から今年度初めにかけて、自校の教育課題や経営課題を明らかにして、全職員で共通理解を図ったことが本実践の始まりでした。生徒指導上の問題への対応や不登校児童への対応、教材研究や授業準備の不十分さなどの課題を、「大川小さいこうメソッド2023」の汎用的な活用を通して、全職員が一丸となって取り組んできました。すぐに課題解決につながったわけではありません。教師も子ども達も保護者も「さいこう」を合言葉に少しずつ変わっていき、目指す「最高な学校」にちょっと近づけたかもしれません。今回の受賞の喜びを、今後の教育活動へのエネルギーにつなげていきたいです。

2. 「大川小さいこうメソッド2023」を進める上での課題や、苦勞した点を教えてください。

「大川小さいこうメソッド2023」を進める上で一番の課題は、意識改革です。「全員が参加し、目的意識をもって、納得するまで学び合う姿」を目指して、生徒指導提要（改訂版）にも示されている生徒指導の視点を授業づくり・学級づくりに取り入れることにしました。

そして、研究主任（山口寿穂教諭）が中心となり考案した「大川小さいこうメソッド2023」＝「学級の安心・安全な風土の醸成を基盤にして、④参加できる全員活動（自己存在感）、⑤意図的な学び（目的意識づくり）、②これからの自分（自己決定）、③うれしさを伝える（共感的人間関係の育成）の4つの視点」を合言葉にして、すべての教育活動に適用していくことにしました。

また、研究主任が構築した「OJTによる授業づくりミーティングの仕組み」を校内研修に取り入れることで、職員の意識を変え、4つの視点での授業づくりと学年経営を充実させていくことができました。

3. 学級の安心・安全な風土の醸成が子どもの居場所につながり、「さいこう」メソッドの下支えとなっていますが、工夫した取り組みなどがあれば教えてください。

まず、特別活動の取組を重視したことです。子ども達が学級の問題を自分たちで取り上げ、互いの考えの良さを生かして話し合い、協力し合いながら実践し、「さいこう」

の視点で振り返り、次の実践につなげていきます。その中で友達役に立ったり、認められたりする場面が少しでも増えていくことで心の充実につながられました。また、これまでの「学級の問題や児童間のトラブルを教師が解決する」から脱却し、「自分たちで解決するクラス会議」を積極的に行うようにしました。加えて、高学年児童が中心となって行う委員会活動に、互いのアイデアを生かした創造的活動を多く取り入れることで、学校を楽しくするための実践が広がりました。

次に、地域を活用した探求的な学習を計画的に仕組むことにより、ふるさとの良さをもっと広めたいという目的意識をもって、地域の様々な人とふれあい、自ら調べたり体験したりしたことをまとめ、発信する学習を行いました。他者とのコミュニケーションやふれあいからくる喜び、学んだことや発信したことを褒められたり、認められたりする喜びが子ども達の有用感や満足感につながっていると思います。

4. 研究を通じて、先生や児童・生徒にどのような変化がありましたか？

職員が組織的に対応した生徒指導の発生件数が、昨年度までより激減（R4年度：43件→R5年度：7件）し、児童は落ち着いた学校生活を過ごすことができるようになってきました。また、不登校・不登校傾向の児童の人数や欠席数もかなり減少しました。それに伴い、教職員の授業に対する教材研究や授業準備を行う時間的な余裕も生まれ、少しずつ子ども達が、わかる・できる授業づくりにつながってきているように思います。学校全体の学力についても、昨年度より、学力四分位層のC層・D層の割合が減ってきました。

5. 今後の展望をお聞かせください。また、同様の課題をもつ先生方に向けて、メッセージをお願いします。

学校は、人事異動等によって毎年メンバーが変わっていきます。本実践を通して少しずつ良い方向へ変わってきている大川小学校の研究・教育活動を今後もより良いものに、継続・発展させていくことが大切だと思っています。そのために、次年度（令和6年度）の重点目標「目的意識をもち、学び合う子どもの育成」の達成を目指して、「大川小さいこうメソッド」をバージョンアップし、さらに職員一丸となって課題解決に取り組んでいきたいと思っています。

課題や問題のない学校などありえないと思っています。困難な課題や問題にも解決策や突破口があると信じて、他校の取組からも積極的に学びながらより良い学校づくりに努めていきたいと思っています。

本誌に対するご意見・ご感想をお聞かせください

「きょうこう」Vol.47

読者アンケートを実施中！

アンケートにご回答いただいた方の中から、

抽選で**100名様にAmazonギフト券500円分をプレゼント**

応募方法

以下の二次元コードを読み込み、専用フォームからご回答ください。



こんな企画をやしてほしい



この特集が
おもしろかった

受付期間：2024年**6月30日(日)**まで

※当選者の発表は、Eメールでの通知をもって代えさせていただきます。

※Amazonは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

日教弘会員の皆様へ 登録情報の変更手続きをお願いします

➡ **新しいご住所や
勤務先等の届出はお済みですか？**

※変更がない場合はご連絡いただく必要はございません。

ご登録の住所や氏名、勤務先情報等に変更が生じたときは、当会に必ずお知らせください。Webまたはコールセンター等で届出が可能です。

異動届の提出がなく、2か年連絡が不能となったときは、会員制度規定第7条(3)項の(退会)に基づき、会員資格が喪失し福利厚生サービス(日教弘クラブオフ)のご利用ができなくなる場合がございます。

手続き方法

Web <https://www.nikkyoko.or.jp/notification/>



スマートフォンは
こちらから

電話 ● 日教弘コールセンター
TEL: **0800-919-6189** (通話料無料)
平日：10:00～16:00

音声ガイダンスに従って「2#ご登録内容の変更について」を押してください。



【心に残る



思い出の生徒

とよしま あきひろ

豊島 章弘

群馬県前橋市立元総社中学校 教諭

私がその生徒と関わったのは今から十数年前。彼が中学3年生の時に担任として関わったのが最初だった。当時の彼はいわゆる問題児であった。昼間、教室には寄り付かず、登校したとしてもすぐに抜け出す。夕方や夜になると出沒し、その対応に追われる日々。対人関係も上手く築けず問題を繰り返し起こしていた。卒業式の日ですら、最後の学活にちょっと顔を出す程度。当時の彼にいろいろと振り回された私であったが、今は決して悪いイメージで残っているのではない。その後の付き合いにより、忘れられない生徒、感謝している生徒となった。

卒業後、彼から学校に電話があった。たまたま自分が電話に出たのであるが、内容は「弟が部活の練習着を忘れたけど、家の都合で洗えなかった。だから弟を怒らないでほしいと顧問に伝えて。」とのこと。（「え!?お前が人の心配をするの?あれだけ周りに迷惑をかけていたお前が!?!」）と思ったが、「わかった。ちゃんと顧問の先生に伝えるよ。」と返答し電話を切った。練習着を用意できなくてもそれは本人の責任。そう割り切ってもいいところ、彼はわざわざ電話をしてきたのである。彼の弟への愛情に感心した日であった。

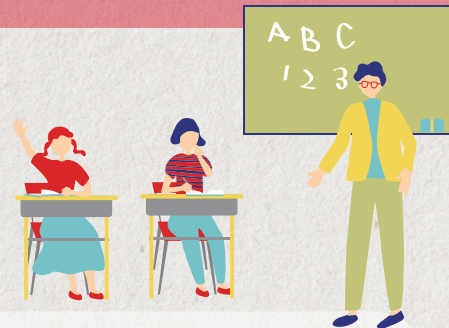
また、しばらくして彼と会うことがあった。すでに仕事を始めていたようで、その日の彼は作業着を着ていた。その時の彼はこんなことを言っていた。

「俺の服はこの仕事着と普段着の2着でいいんだ。」突然のセリフに「なんで?」と聞くとこう返ってきた。「自分は今付き合っている人がいる。その人には子どももいて、自分の洋服代はすべてその子どものために使いたいんだ。」と。本当に驚いたし、感動した。中学のころの問題児ぶりとはうってかわって、相手を思いやる好青年ぶりに「人間というのは一時(中学の姿)がすべてではないな。その後の生活によって、これほどの成長をとげることができんだな。」と知ることができた。

それ以降、目の前にいる生徒の可能性が自分の中で広がった。「彼があそこまで成長できるのなら、この生徒もきっと…」そう、人の可能性は無限大ということを彼は私に教えてくれたのである。これは本当に感謝している。

後日談であるが、ある時たまたまであるが彼が働いている店に立ち寄ったことがあった。向こうは嬉しそうに対応してくれたが、びっくりしたのは、また彼の言葉だった。彼は、周りのスタッフに私のことを「学生時代の担任のなかで一番の担任」と言っていたという。たった1年だけであったが、彼とのやりとりや指導が何かしら彼の中で良い思い出として残っていたようである。自分は、恥ずかしいと思いましたが、彼の自慢にふさわしい教員でいなければ、と仕事への思いを改めることができた。また、感謝である。

子どもたち



生徒たちからの学びを大切に

みやけ たつや

三宅 竜哉

福岡県立福岡高等学校 校長



この原稿執筆のお話を頂いたとき、すぐに心に浮かんできたのが、私の教師としての在り方に一石を投じてくれた弓道部員の恵さん(仮名)の事でした。

当時の私は、初任校で7年目を迎え、理数科2期生の3年担任と生徒会、弓道部の顧問をしながら、高体連の弓道ブロック専門委員長を担っていました。顧問をしていた弓道部は実績が上り調子で、3月の全国選抜大会は男女で個人戦に出場し、女子は準優勝という結果を残していましたし、春の九州大会県予選では女子は団体・個人で優勝、全国高校総体予選でも女子は優勝候補として県内で注目される存在になっていました。そんな中で、自分なりに3年担任としての仕事や生徒会の指導と時間調整しながら、部員数が多かった弓道部の指導にも熱心に取り組み、教師として充実した日々を送っているつもりでした。

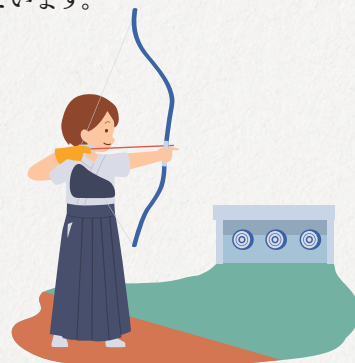
文化祭が近づいた5月中旬、弁論大会の学年予選に弓道部3年の恵さんがクラス代表として出場しました。部員として毎日顔を合わせていた彼女がどんな話をするのだろうと楽しみにしていた私でしたが、彼女の話は私にとって予想外なものでした。

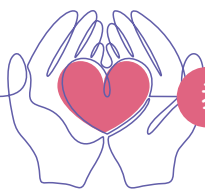
「私は部活動でみんなから『ビビリ』と呼ばれています。それは、私が矢を放つときに怖がりながらビビって離すからです。だから、矢は狙った通りに飛ばず全然あたりません。私もみんなのように上手になりたいと思って毎日懸命に練習している

のに、何度やってもビビリが治らず、こしばらくは一本もあたっていません。(中略)私は部活引退まで残り日数があまりないけど『ビビリ』が治るように最後まで頑張りたいと思います。」

私は、彼女の怖がりながら離す癖やあたりが出ていないことはわかっていましたが、彼女が毎日どんな思いで練習に取り組んでいたかを知って大きな衝撃を受けました。私の教える技術が不足していたこともあります。思い返してみれば、大会に出るメンバーの技術指導に多くの時間をかけ、彼女のような部員の気持ちに真剣に向き合っていなかったことを痛感させられました。彼女が弁論大会という場でその題材を選び、気持ちを語ってくれた真意はわかりません。しかし、彼女の言葉は、生徒への向き合い方を見直すきっかけを私に与えてくれました。

教師の仕事は生徒を育てることではありますが、私は生徒に育ててもらっていることを実感する場面がたくさんあると感じています。多くの先生方が、生徒たちからの学びを大切にする教師であり続けてほしいと願っています。





第3回

指圧のエビデンス 人生100年時代 に向けて

日本の指圧から、世界のSHIATSUへ



なみこし ともや
浪越 友哉

1994年生まれ。幼い頃から指圧に触れ、大学卒業後にあん摩マッサージ指圧師国家資格取得。

現在、浪越指圧4代目として活躍。株式会社浪越指圧アソシエーツ専務取締役、一般財団法人国際指圧普及財団評議員を務める。

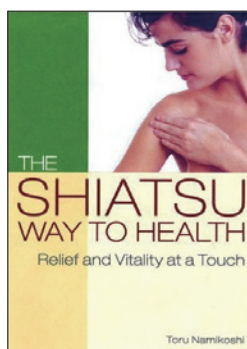


日本で生まれた指圧は国内に留まらず、英文書「SHIATSU」出版を経て、海外でもその効果を認められ「Fingertip pressure」という訳語から「SHIATSU」として大英辞典(Oxford English Dictionary)に日本語の医学用語として掲載されています。

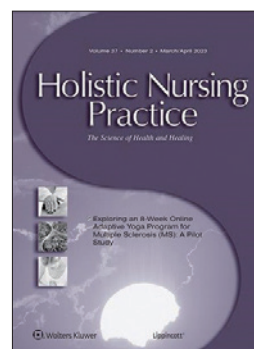
女優マリリン・モンローがジョー・ディマジオと1954年にハネムーンで来日した際に急性の胃痙攣を患い、医師の注射・投薬治療を拒絶したことから、日本に付き添いで来日していたサンフランシスコ・シールズの元監督であったフランシス・ジョセフ・オドール氏(ジョー・ディマジオの尊敬する師)の推薦により、浪越徳治郎が東京の帝国ホテルに呼ばれ、計7回の指圧治療を施すに至りました。

スポーツ界においては、ボクシング世界ヘビー級チャンピオンのモハメッド・アリを初代徳治郎が指圧し、同じくボクシング世界ヘビー級チャンピオンのジョージ・フォアマンを2代目浪越徹が指圧、徹の妻である満都子はチェコの平和的ビロード革命で有名なハベル大統領を指圧するなど、日本の指圧から世界のSHIATSUへと広まったのは世界へ指圧の普及・訴求・啓蒙を続けた2代目浪越徹の存在なしには語れません。

現在、3代目浪越孝が指圧の科学的エビデンス確立に向け、指圧の臨床研究を医師との連携で行っており、聖路加国際病院との指圧研究が2019年に「Shiatsu for chronic lower back pain : Randomized controlled study」(腰痛に対する指圧の効果:ランダム化比較試験)が世界で権威ある医学誌「Complementary Therapies in Medicine」に掲載され、2023年には「The Effect of Shiatsu Therapy on Sleep Quality in Patients With Low Back Pain: A Secondary Analysis」(腰痛患者における、指圧の睡眠の質に対する効果:二次解析)が「Holistic Nursing Practice」に掲載されました。



日本の指圧から、
世界のSHIATSUへ
2代目 浪越 徹



腰痛患者における、指圧の睡眠の質に
対する効果:二次解析
3代目 浪越 孝

今後は4代目浪越友哉が指圧による疾病の予防と治療、予防医療、健康増進、スポーツ関係、美容関係など多角的に指圧の普及に向け取り組んでいきます。浪越指圧の趣旨と目的である、世界中の人々に健康で元気な100歳を迎えていただくために、浪越指圧の後継者として臨床研究などに邁進しています。

ワンポイントアドバイス

セルフ指圧する上でのポイント

- 指の先だけで压さず、**指の指紋部**で压しましょう。
- はじめから強く压さず、**じんわり**と压しましょう。
- 揉んだり捏ねたりせず、**体表に対して垂直**に压しましょう。
- 息を吐きながら压し、**骨を压さない**ようにしましょう。

寝つきが悪い、不眠

布団に入ってもなかなか寝つけない…というのはつらいもの。しかも寝つきが悪いと睡眠のリズムが乱れ、疲労が回復しません。寝つきの悪さは、脳の活動が止まらない、体に熱がこもるといった原因のほかに、病気によって引き起こされることもあります。寝つきが悪いときは、布団に入ってから指圧がおすすめです。

日常生活では、規則正しい3度の食事や適度な運動を心がけ、寝る直前までテレビ、パソコン、スマホの画面などを見ないようにしましょう。ややぬるめのお風呂や、寝る直前のストレッチなども、心身がリラックスして有効です。また、自分にあった枕を選ぶなど、寝る環境を整えることも大切です。

布団に入ってから指圧方法

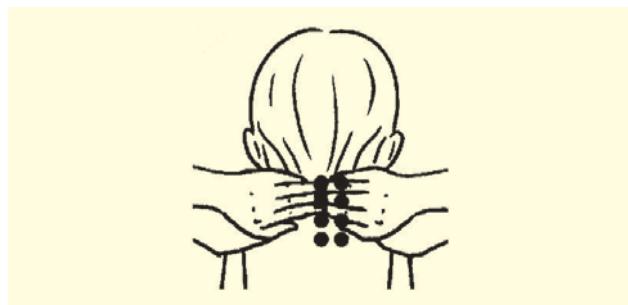
寝る前にできる簡単指圧です。

頭と枕の間に手を入れ、左後頸部(頸椎のすぐ脇)の一

番上のポイントに右手の三指を当て、その指先に左手の三指を重ねます。



手に頭の重さをかけながら、4点目まで上から下へ、それぞれ1点3秒3回ずつ压しましょう。左が終わったら、右後頸部に左手の三指を当て、右手を重ねて同様に压します。



手を組んで後頭部に当て、母指で側頸部の4点を上から順に、1点3秒3回ずつ左右同時に压します。寝たままだと頭の重さがかかり、効果が高まります。



自律神経を整える

人は誰もが様々なストレスを感じながら生きています。適度なストレスであれば、心身に良い刺激となるのですが、ストレスが長引くと心身に悪影響を及ぼしてしまい、自律神経が乱れます。

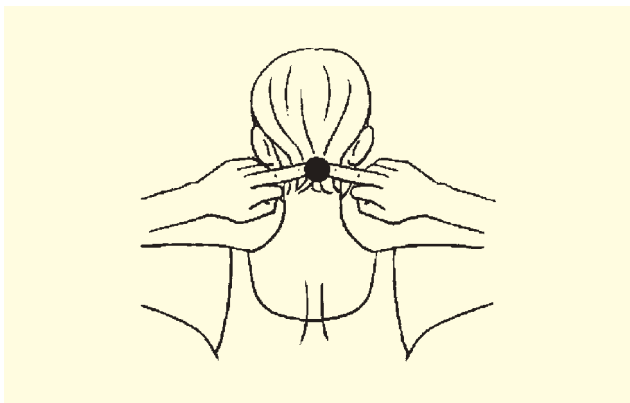
ストレスの原因は人間関係や不快な感情、不規則な生活習慣や睡眠不足など多種多様。責任の重い仕事をまかされたり、気を使いすぎたりしてもストレスで自律

神経が乱れます。ストレスを解消するには、その原因をなくするのが1番ですが、それが不可能なことが多いのも事実。そのため、十分な休養や心身のリラックス、積極的な気分転換がとても大切です。もちろん、セルフ指圧も大変有効なので、ぜひ取り入れてください。

ストレス軽減のための指圧方法

ぼんのくぼ(延髄部)を両手の中指を重ねて、体幹に向かって押しましょう。

眉間に向かって押すイメージだと分かりやすいと思います。延髄部の指圧は、ストレス軽減にとっても効果があり、自律神経を整えていきます。



疲れを癒す指圧方法

前頸部の指圧は特に自律神経へ作用し、疲れを癒す効果が期待できます。

前頸部の指圧の方法は、四指を首の後ろに添えるやり方。この場合も左上から4点、右上から4点の順番でします。一番下のポイントを压すとき、母指が内側にずれると気管を压してしまうので、注意が必要です。



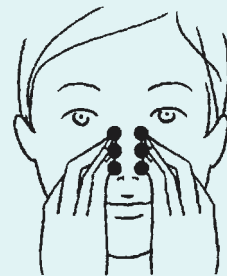
ワンポイントアドバイス

花粉で辛い鼻へアプローチ！

示指に中指を重ねた重ね二指圧で、鼻骨の両側の3点を上から順番に、左右同時に1点3秒、3回ずつ指圧します。

一番上のポイントは鼻の骨の一番上の部分、三番目のポイントは小鼻の付け根、二番目のポイントはその間になります。

指圧するときは、鼻の中央に向かって压すのではなく、頭の後方に向かって压すようにしましょう。



爽やかな季節の到来です。心身ともに健やかに過ごすためには、よく食べ、よく動き、よく眠ること！ 教職員の皆さまの健康に役立つことができれば、指圧師としてこの上ない喜びです。





96歳現役! 「四角法」で一億総美文字を目指す!!

元気の出る かきかた教室
四角法をかきたノート研究所

さとう けいいち
代表 佐藤 圭一 さん 〈96歳〉



スマートフォンやパソコンが当たり前になった今、自身の書く字を見る機会は日常の中でどのくらいあるだろう。文字の変換は機械がしてくれるのは当たり前。ましてや、正しく鉛筆を持つことができるか否かさえ、甚だ心もとない時代になってきた。

そんな時代のなかで、美しい文字を誰でも簡単に書けるようにと日々奮闘を続ける元校長が、岡山県倉敷市茶屋町にいる。佐藤圭一さんである。小中学校の国語教員や校長として39年勤め上げた後、筆耕職人として30年以上のキャリアをもつ現役の96歳だ。筆耕職人の実績と技法をもとに開発した「いきなり文字が変わる四角法! かきかたトレーニングノート」が、全国で今大変な話題を呼んでいる。2022年にはこのノートが実用新案に登録され、人気に拍車をかけた。

「筆耕の経験から、美しい文字には法則があることを発見したのです。四角のマスと文字の接点がポイントで、文字をなぞることからトレーニングすれば、年齢に関係なく誰もが美文字になります」。「接点に留意しながら、なぞる」のは認知症予防と老化防止に役立つのでは、と佐藤さんは語る。

今も開催している「かきかた教室」の参加者は、未就学児から高齢者まで実に幅広い。佐藤さんによれば、「美しい文字の規定はないが、書き手も読み手も快い文字が美文字なのではないか」ということだ。

デジタル化の一方で手書きの値打ちが問われる今、できれば美しい文字を書きたい、子どもたちにも書かせたいと願うのは、教職員にとっても身近なテーマであろう。ある小学校で、このノートで本当に文字が変わるのかと試したところ、納得度が5段階評価で「5」が97%、「4」が3%だった。他の小中学校でも、ほぼ同様の成果をみせたという。

96歳の佐藤圭一さんが目指すのは、一億総美文字。4年後、100歳になったら記念コンサートを開催する予定で、その舞台で吟書をする文字は、「与不レ思 受不レ忘」と決めている。「与えて思わず、受けて忘れず」。小学校校長を定年退職したときに、銘した言葉である。



全国から注目を集める
「かきかたトレーニングノート」第一集

お問合せ先: 創心會 086-420-1500



わたしたちの 学校自慢

専門高校シリーズ vol.12

長野県長野商業高等学校

100年続く『長商デパート』は 生徒全員が株主



「日本一の高校生デパート」として伝統を重ねる高等学校がある。長野商業高等学校だ。高校生たちが創りあげる模擬デパートは『長商デパート』の名で地域から愛され、2024年度で100周年を迎える。

株式会社を学校内に作り、仕入れから販売(営業)、経理、人事、会場、宣伝、サービス、用度等、全ての運営を生徒が主体的に行い、コロナ前の平均売り上げは約3000万円。専門科目の『長商デパート』という授業があり、商業学習の知識と技術、実践、自発的に考え行動する学びが、この模擬デパート伝統の土台となっている。

学校内株式会社の仕組みも独特だ。全生徒が入学と同時に1人500円を出資、全生徒が株主になり、卒業時には元本と配当を受け取る。令和5年度の社員数は597名(全生徒)と教職員。社長も取締役も全員生徒が担い、3月には全生徒による株主総会が開かれ、決算報告と新経営陣の承認が図られる。

第99代社長は、3年生の奥野琉妃さん。「コロナが明けて通常開催となった今年は、お手本のないゼロからのスタートでした。社長としての目標は二つ。『通常開催を成功させる』ことと『売り上げをコロナ前に戻す』こと。次の100期を迎えるために、今何をするべきかを常に考えました。対面販売もメタバースをとり入れるなど、新しい挑戦にも踏み出しましたが、危機感とプレッシャーで心が折れそうになったこともあります。けれど、社長は常に余裕を

持たなければ務まりません。リーダーが弱ると組織も弱ってしまいますから。メンタルも随分鍛えられたと思います。100期の社長には、新しい挑戦を恐れることなく進んで欲しいと思っています」。

コロナ禍においても、『長商デパート』の形を変えて開催を続ける決断をした三澤秀樹校長は言う。「企業はコロナ禍であっても経済活動を止めることはできません。世の中が自粛ムードのなか、商業高校として出来ることはないのか、感染症という深刻な社会的課題に挑戦する方法はないのか協議を続けました。その結果生徒たちは、ドライブスルー販売や県庁への訪問販売、時間帯別入場制限など新しい開催の在り方を生み出していったのです」。

1916年(大正5年)から続く『長商デパート』だが、戦時中の8年間、開催が中断された歴史もある。先輩たちが繋いできたバトンを受け継ぐこと。そして新しい社会を自ら作り出していくこと。2024年10月には、記念すべき第100回「長商デパート大売り出し」が開催される。新社長の下、全生徒による準備がスタートした。



学校HP

左から三澤秀樹校長、第99代奥野琉妃社長、吉岡和久教頭



宣伝ポスターも生徒の手作り



長商デパート in メタバース(中庭がモデル)



体育館下ピロティを生かした鮮魚売場。雰囲気も実際の市場さながらの元気のよさ



体育館の広さを生かしたスーパーマーケットでは、3,000アイテムの商品管理に8台のPOSレジが稼働



教 職 員 の 皆 さ ま へ



高校生向け ^{2023年}4月より 金融教育プログラム のご提供をスタート しました！

プログラムのポイント



家庭科授業における金融教育で求められている要素が網羅されています。



生徒の参加型の授業（アクティブラーニング）の要素があります。



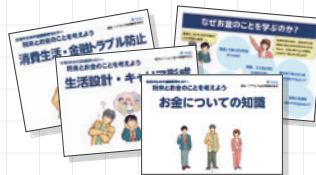
授業投影用スライド、生徒配布用テキスト、指導用ガイドブックなど授業に必要なツールが整っています。



授業を通して生徒の理解度がはかれます。

プログラムの全体構成

- 1 お金についての知識**
収入や支出を適切に管理することの重要性などお金について知っておくべき基本的な事柄を学ぶ
- 2 生活設計・キャリア形成**
人生の夢や目標を達成するためには、あらかじめ明確なライフプランを描くことが重要であることを学ぶ
- 3 消費生活・金融トラブル防止**
私たち一人ひとりが消費者であり、権利と責任を自覚し自立した消費者として行動することの重要性を学ぶ

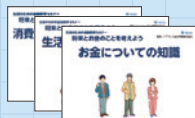
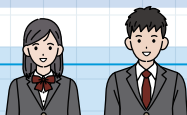


図やイラストを多用した内容で
教えやすい！
分かりやすい！

ご提供教材パッケージ

金融教育プログラム『Financial Wellness College Essential』

生徒用



授業用スライド、ワークシート



生徒用テキスト



教職員用



指導用スクリプト



指導用ガイドブック

※本コンテンツは社会人向けのFinancial Wellness College(*)より高校生向けに開発されたものです。

※ Financial Wellness College とは 前向きな人生を送るための金融教育セミナー

後援：公益財団法人 日本教育公務員弘済会

ジブラルタ生命保険株式会社

本社/〒100-8953
東京都千代田区永田町2-13-10

通話料
無料

教職員
のお客さま

0120-37-9419

本広告の掲載内容に関する問い合わせは、共済事業（提携保険事業）提携会社 ジブラルタ生命保険株式会社 ライフプラン・コンサルタントへご連絡ください。
もしくはジブラルタ生命保険株式会社「金融教育プロジェクト」までメールにてお問い合わせください。≫ Mail: GIB_mail.kinyukyoiku@gib-life.co.jp

国内外20万ヵ所以上の
サービスがお得に!

福利厚生サービス「日教弘クラブオフ」

日教弘クラブオフへのログイン方法

STEP. 1 日教弘クラブオフの専用ホームページへアクセス。

スマホで
アクセス



パソコンで
アクセス

<https://www.club-off.com/nikkyoko/>

STEP. 2 ログインIDとパスワードを入力してログイン。

日教弘クラブオフ

ログインID
パスワード

☐ ログインIDを次回から自動表示する

> ログインID、パスワードを忘れた方へ

ログインID

会員証に記載されている「支部コード(2桁)」
+「会員番号(8桁)」計10桁の半角数字

初期パスワード

ご自身の生年月日(半角数字8桁)
※例: 2003年4月15日生まれ → 20030415
※初回ログイン時にパスワードを変更いただけます。

さらにログイン後に

クラブオフアプリを
ダウンロードして、
もっと便利に!



動画でわかる!
アプリの使い方



※Apple および Apple ロゴは、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
※Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

Pick Up
Menu!

日教弘クラブオフ会員様へ新コンテンツをご紹介します! 「リロオート」登場!

リロオートって?

大手検索サイトを一度に比較できる「中古車検索サイト」です。
日教弘クラブオフ会員様は御見積や成約でギフトも進呈!



リロオート

- POINT ① 約50万台から希望の車両を探せる!
- POINT ② 見積依頼や成約でAmazonギフトカードを進呈!
- POINT ③ 専用相談窓口で万が一のトラブルもサポート!

リロオートご利用の流れ



日教弘クラブオフにログインのうえ、上記二次元コードまたは専用ホームページで申込No.「5091181」を検索!



詳細ページにて、特典を確認のうえ、「パートナーサイトへ」ボタンをタップ!

※②・③は一部の中古車販売会社のみが対象です。ご利用の際は、日教弘クラブオフホームページ記載のご利用条件などをご確認のうえご利用ください。

会員特典

- ① 在庫確認・見積で
Amazonギフトカード
500円分プレゼント
- ② 車両購入で
Amazonギフトカード
10,000円分プレゼント
- ③ 車両買取で
Amazonギフトカード
10,000円分プレゼント



メーカーやエリアなど、条件を選択して希望の車両をお探しください!

●日教弘クラブオフに関するお問い合わせは

0800-919-6189 まで。【通話料無料】 営業時間 10:00~18:00 (年末年始除く)

※リロオートに関するお問い合わせは、リロオート内の専用フォームへご連絡ください。

※掲載内容は2024年3月現在の情報です。予告なく変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。※特典のご利用の際は必ず日教弘クラブオフホームページをご確認ください。※画像はすべてイメージです。

大規模な学校行事で伝統を繋ぐ

神奈川県立横須賀高等学校

県内有数の伝統校として、明治41年に吉田庫三初代校長(吉田松陰の甥)の下に開学して以来、三浦半島から各界に有為な人材を輩出しています。

全校を挙げて実施する文化祭・体育祭・SSH行事は生徒主体で行われ、学年を超えた縦の繋がりが育まれます。先輩から受け継いだ熱い思いと姿勢に学び、さらに先輩を超えていこうと準備にも熱が入ります。「自主自律」「自学自習」「文武両道」の校訓の下、伝統という縦糸と各期の生徒の思いという横糸が鮮やかに紡がれ、次代へと繋がっていきます。



文化祭のクラス企画では、3年生は各クラスで劇やミュージカルを上演します



体育祭では、各学年7色に分かれた“軍”として1～3年生が一致団結して臨みます



国際性の育成に力を入れており、海外の科学コンテストでも入賞を果たしています



地元の商店とコラボし、シャッターアートを制作する等、地域に根ざした取り組みをしています



部活動・同好会への加入率は95%を超え、インターハイや関東大会進出も果たしています



〒238-0022
横須賀市公郷町3-109

【鉄道】

- JR横須賀線「衣笠駅」下車徒歩12分
- 京浜急行線「横須賀中央駅」よりバス「佐野六丁目」下車徒歩6分

【HPのURL】

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/yokosuka-h/zennichi>





日教弘マークについて

公益財団法人 日本教育公務員弘済会<略称:(公財)日教弘>は、
都道府県を含む総称を「教弘」としていることから、
アルファベットの「K」がそのイニシャルです。
「K」を中心にした楕円形は、日教弘本部・支部が一致協力して事業推進していることを象徴しています。
全体のイメージは、未来への飛躍を展望したものです。



公益財団法人 日本教育公務員弘済会<略称:(公財)日教弘>の教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)及び福祉事業は教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。



公益財団法人 日本教育公務員弘済会 <https://www.nikkyoko.or.jp/>

